



自好協
主学力

松ヶ枝

瀬戸内町立古仁屋中学校だより No.2
令和2年5月22日 発行

コロナに負けない

校長 竹ノ山 誠忠
五月雨を 集めて早し 最上川 (松尾 芭蕉)

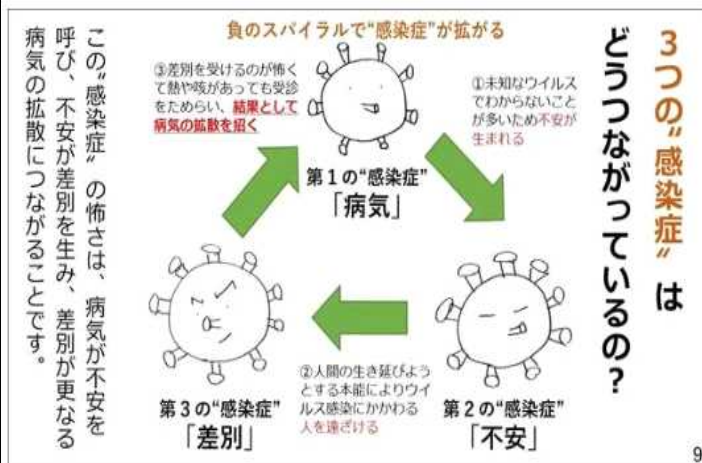
奄美地方は平年より一日早く梅雨入りしました。「五月雨」は「さみだれ」と読み、とても優しい響きがしますが、梅雨の時期の雨です。その雨が支流から集まってきて濁流となって流れている最上川を芭蕉は見ています。昨年、大雨で学校前の山が崩れるなどして、土砂災害が大変心配されました。コロナ禍だけでなくこの時期に予想される災害にも油断なく過ごしていただきたいと思います。



ところで、学校では手洗いやマスク着用を生徒が主体的に取り組むようにしたり、感染防止の正しい理解や適切な行動について指導していますが、そのような中で心配されることが偏見や差別です。始業式に、「偏見や差別がある中では、いつ自分が逆の立場で偏見や差別を受けるかわからない。可能な限り感染を防ぐ手立てをして、もし感染者が出たら病気と闘う人を応援できる、その周りの人のことも静かにサポートできる古仁屋中でいよう」と話しました。しかし、マスコミでは、感染者や濃厚接触者、医療従事者、その家族に対する根拠のない誹謗中傷、デマ、嫌がらせが起きている実態が伝えられます。大人の言動が子どもに大きな影響を与えます。日本赤十字社HPには嫌悪・偏見・差別が生まれる理由として、「見えない敵（ウイルス）への不安→特定の対象を見える敵と見なして嫌悪の対象とする→それを偏見・差別し遠ざけることでつかの間の安心感が得られる」とあります。

そして、差別が更なる病気の拡散につながるそうです。身近に感染者がでたときにどのような行動をとるべきか、まだ発生していない今こそご家庭でも考えておく必要があります。

学校が再開してようやく通常の学校生活が戻ってきたところに、県総体中止の知らせが届きました。三年生にとっては中学生最後の集大成となる大会で、喪失感は計り知れません。しかし、県総体を目指しこれまで取り組んできたことは無駄ではありません。部活動をとおして学んできたことは何だったのか、振り返って考えて自分なりの答えを導き出してほしいと思います。この経験も糧として前を向いていこう。



「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」日本赤十字社HP

避難経路確認

5月19日(火)

感染症対策で全学年では実施せず、密を避け、各学年ごとに避難経路の確認や避難時の注意事項などを確認しました。

地震が頻発していますので在宅時の避難に関しても確認しておきましょう。



PTA評議員会・理事会

20日(水)に評議員会・理事会が行われました。各専門部活動の計画が話し合われたり、PTA 会長・副会長さんや学校専門部長さんが推薦されたりしました。

今年度は、PTA 総会では中止することに決定しました。総会で決議する議案は書面決議の方法で決めることになりました。後日、生徒便で総会資料を送りますので、ご確認ください。



ありがとうございます



瀬戸内町地域女性団体連絡協議会から手作りマスクをいただきました。また、新極真代表緑健児様からもウイルス除去用品もいただきました。ありがとうございます。

第1回実力テスト

20日、21日に3年は、第1回実力テストを行いました。テストの後も大事です。できなかったところは、復習をしっかりとし受験に備えましょう。



6月行事予定

※変更になることがあります。

- 15日 スクールカウンセラー来校
- 17日 3年生生徒向け進路説明会
- 17日～25日 期末テスト前部活動停止期間
- 19日 3年生私立高校説明会・親子進路学習会
- 24日～26日 期末テスト